



お知らせ

3月
2日

農作物の作柄を占う神事

～管粥神事 日置八幡宮～

暮らしに便利

あいさい見聞録

健康ガイド

スポーツ

イベント

子育て1・2・3

まちかどtopics

15世紀頃から続く歴史ある神事で、市指定の無形民俗文化財。この神事は毎年旧暦1月15日に行われています。占いの準備は前日から行われ、米と小豆とヨシを大きな釜で一緒に炊き、管の中に入った米の量でその年の農作物の豊凶を占うもの。

管は、「田の部」12本、「畑の部」18本、総じて占う「総世の部」1本の順に割り、並べて占いました。

今年は、「田の部」では、蓮根・コシヒカリなど、「畑の部」では、葱・大根などが「上ノ上」となり、「総世の部」では、「上ノ中」となりました。



今月の表紙



4月と言えば桜。市内の桜の名所と言えばどこが思い出されますか。

市役所の玄関前にも立派な桜の木があり、毎年美しい花を咲かせます。

3月

11日

オコワを食べて

無病息災

～勝幡オコワ祭～

国の選択文化財であり、市の無形民俗文化財にも指定されている「オコワ祭」が勝幡神社で行われました。毎年3月第2日曜日に行われる春の大祭です。

オコワ樽の入ったコモを「よいしょ」の掛け声とともに、大きなオコワ石にたたきつけ、オコワを餅状にします。中のオコワを食べると夏病みしないとされており、地域の人たちは競うように割れたオコワ樽に手を伸ばしていました。

